

第5回例会

通算第 1240 回例会 2025.8/6(水)

出帆式 例会変更:夜の例会 18:00~

会場:フルーツレストランバー AIKA

▶ 開会点鐘

▶ ゲスト:ミン ヘイン カントさん(米山奨学生)

▶ 宮崎登志行 会長 挨拶

出帆式を迎えて本格的に今年度の活動が始まるのかなと思っております。8月に入りまして本日は広島原爆記念日、9日は長崎原爆記念日、そして15日は日本では終戦記念日ということで、戦後80年という節目の年でもありますので、いろんな思いを抱きながら進みたいなと思っております。

昨日から夏の107回甲子園高校野球が始まりまして、今年は猛暑の中、午前と夕方からの二部制で試合が行われています。昨日の開会式も初めて夕方5時からということで、酷暑の中でまた高校球児の爽やかなプレーに期待して楽しみながら見ていきたいと思います。

郡山アーバンコスモス RC もいよいよ今日の出帆式をお蔭様で迎えて頂いて、いろいろ皆様のご協力をいただきながら、これから8月、9月、10月と色々な行事もありますので、ぜひ皆さん出席をよろしくお願い申し上げます。会長挨拶とさせていただきます。本日もよろしくお願い申し上げます。



▶ 8月分米山奨学金お渡し

・カントさん 挨拶

就職する会社が決まり、昨日は仙台に行きました。仙台から帰ろうと思ったら、仙台駅の近くで花火大会があると友達から聞きました。私はまだ花火を見たことがありませんでしたので、花火会場に行ってから郡山に帰ってきました。とても素晴らしくて、きれいで、楽しかったです。



▶ 8月のお誕生祝い

▶ 齋藤健二 親睦活動委員長

今月のお誕生祝いをさせていただきます。橋本弘幸さんと佐藤功一さんです。本日出席の橋本弘幸さんに花束を贈呈いたします。おめでとうございます。



▶ 閉会点鐘

出帆式

▶ 齋藤健二 親睦活動委員長

今年度初めての親睦活動委員会担当の夜の例会です。不慣れですがよろしくお願いいたします。

▶ 会長幹事に
花束贈呈



▶ 集合写真撮影



▶ 乾杯:長尾 勉 パスト会長



▶ 諸事連絡:星 相ノ介さん

第6回例会

通算第 1241 回 2025.8/27(水)

12:30~13:30 郡山ビューホテル

- ▶ 開会点鐘
- ▶ ロータリーソング「我等の生業」斉唱
- ▶ 四つのテスト唱和:本郷俊之さん

▶ 宮崎登志行 会長 挨拶

来年 6 月の「台湾新竹東北区 RC 会長交代式」および「ロータリー国際大会(台湾開催)」のご案内を皆さんに送らせていただきました。30 周年記念式典に新竹東北区 RC から 30 名が来られるという話をいただいておりますので、台湾で開催される国際大会と新竹東北区 RC の会長交代式に多くのメンバーで台湾に行きたいと思っております。来年の予定ですが人数を早めに把握させていただきたいと思っておりますので、行ってみたい方は「出席」と返信していただければと思っております。

プログラム:会員卓話

▶ 松川義行 会員増強委員長

会員増強委員長として地区研修に出席させていただいております。その中でお聞きしたレジェンドの方たちのお話を皆さんと共有させていただければと思います。なぜ会員増強をしなければいけないのかと思ひ、会員増強の意義について考えてみました。まずクラブメンバーの多様性の確保です。合併のために経験豊富な先輩会員の皆さんが人脈を生かして進められ、私や安中先生は手続き面でサポートさせていただき、みんなで力を合わせてはじめて合併ができたと感じております。ロータリークラブは地域に必要とされる奉仕活動をしっかりと行っていくことが大事だと思います。どのような奉仕活動をするのかということでも、いろんな職業の会員が揃い、多様な会員が議論をすることで素晴らしい奉仕活動が生まれてくるということで、奉仕活動のインパクト拡大という意味でも、ある程度の会員数が必要と考えております。会員体験の向上ということでは、いろんな会員の皆さんとお話をさせていただいたり教えていただいたりして、会員数がたくさんいたほうが知り合いも広まっていきます。クラブの継続性の確保ということで、クラブ組織の人選というところでも、会員増強というのが必要であるということなのかなと考えております。

「会員増強の目標」ということで、旧アーバン RC の 2021-22 年度の戦略計画によると、30 周年を迎える年度末までに会員数を 50 名にするとされており、今年が最終年度です。合併により現在の正会員数は 43 名になりました。名誉会員の白岩邦俊先生、法人補欠会員の藤田弘美さんと佐藤武司さんも含めれば目標達成まであと 4 名、正会員ベースで考えると純増 7 名となり、手が届きそうな目標は非常に頑張り甲斐があるのかなと感じております。

「会員増強の手法」は高崎 RC の田中久夫さんの「ロータリークラブに入

ろう!」という著書にすべて書かれております。田中さんは 1 年間に 50 名以上増強されたというすごいレジェンドで、まず 1~2 ヶ月に 1 回の会員増強会議を開催したそうです。会長、幹事、会員増強委員長ほか 5~6 名の若手中心の構成員が、それぞれ 10 名の候補者リストを持参し、優先順位に電話をしたそうです。新会員候補者を集めて説明会を開催して入会につなげていったそうです。

当クラブでも昨年度に新会員候補者をお誘いして一泊例会を開催しました。ふさわしい人がいたらすぐ勧誘するために「三種の神器」を全会員が持ち歩いたそうです。情報収集のための趣味の記載欄もある入会申込書、クラブを理解していただく説明用のクラブのプロフィールの印刷物、RI 日本事務局が作ったロータリーを説明する印刷物を常に皆さんが持ち歩いて、ふさわしい人がいたらすぐにお声掛けをしていたそうです。新会員候補者を勧誘するときに、ロータリーやクラブを明瞭に説明できるように勉強会を開き、例会の工夫をすることは退会の防止にも有効です。高崎 RC では握手タイムを設けたそうです。入会申込書の趣味の欄を参考に同好会等を立ち上げたそうです。他クラブとの合同での夜間例会の開催は当クラブでもいろいろ開催されています。他クラブとの合同例会により、他クラブの雰囲気とか運営の仕方とか、情報の交流もできるということです。

新会員に役職に就いていただけて力を発揮していただくということも「例会の工夫」のひとつです。メイクアップを奨励するということでは、他クラブの例会に向いてメイクアップした回数が多い人を表彰するなどして、メイクアップを奨励したそうです。

いろんなノウハウを参考にしながら会員増強を進めたいと思っております。特に会員増強会議をやってみたいと思っております。当クラブの全会員が会員増強委員会に入っていることになっておりますので、ぜひご参加いただければと思います。以前にクラブのプロフィールの印刷物などを作ったことがありました。合併して新しいクラブとなりましたので、また皆さんに配布したいと思っております。これらの手法を取り入れながら、目標を達成するために 1 年間頑張っていきたいと考えておりますので、皆さんのご協力をよろしく願いたします。

先日の地区のセミナーで他の地区の成功事例などをいろいろ伺いました。印象に残ったのは「結局はやるかやらないかしかない。うまくいくクラブにはすごい熱意を持つリーダーがいて、会員増強にすごい熱量で取り組む結果、そういう熱量が周りの人に伝播して、みんなが増強に熱心に取り組むようになっていく」というお話でした。自分のクラブを良くしたいという情熱、思いの強さ、熱量といったものが一番大事なのかなということが、セミナーに出席して心に残りました。

▶ 閉会点鐘

